

第10回蒲郡市産業振興会議 会議録

開催日時	令和7年3月7日（火）午前10時～正午		
開催場所	蒲郡市役所本館3階303会議室		
出席者	【蒲郡市産業振興会議委員】（敬称略）		
	機関名または企業名	役職	
	蒲郡市漁業振興協議会	会長	小林俊雄 (三谷漁業協同組合 代表理事組合長)
	蒲郡鉄工会	会長	近藤昌泰 (株式会社近藤鐵工所 代表取締役会長)
	蒲郡金融協会	代表	河合修治 (蒲郡信用金庫 常務理事)
	小池商事株式会社	代表取締役社長	小池高弘
	株式会社金トビ志賀	代表取締役	志賀重介
	株式会社ミスコンシャス	代表取締役社長	小山絵実
	稲葉製綱株式会社	取締役専務	稲葉千穂子
	愛知工科大学	工学部機械システム工学科教授	渡部吉規
	愛知大学	地域政策学部教授	戸田敏行
	蒲郡市	産業振興部部長	池田高啓
	【欠席者】		
	機関名または企業名	役職	氏名
	蒲郡商工会議所	会頭	小澤素生 (株式会社ニデック 代表取締役社長)
	蒲郡市観光協会	会長	杉山和弘 (株式会社明山荘 代表取締役社長)
	蒲郡市農業協同組合	代表理事組合長	鈴木茂正 (蒲郡市農業協同組合 代表理事組合長)
	豊橋技術科学大学	大学院工学研究科 機械工学系教授	高山弘太郎
	【事務局等】		
	機関名または企業名	役職	氏名
	蒲郡市	産業振興部産業推進監兼農林水産課長	永島勝彦
蒲郡市	産業振興部観光まちづくり課長	鈴木直美	
蒲郡市	産業振興部産業政策課長	竹村太郎	

	蒲郡市	産業振興部農林水産課 係長	久田雄一郎
	蒲郡市	産業振興部観光まちづくり課 課長補佐	鈴木隆夫
	蒲郡市	産業振興部観光まちづくり課 シティセールス推進室 室長	小山道徳
	蒲郡市	産業振興部産業政策課 課長補佐	黒田俊介
	蒲郡市	産業振興部産業政策課 課長補佐	永谷礼子
	蒲郡市	産業振興部産業政策課 産業立地推進室長 室長	坂口敏行
	蒲郡市	産業振興部産業政策課	吉見健児
	蒲郡市	産業振興部産業政策課	中根翼
	蒲郡商工会議所	中小企業相談所長	松岡祐志
	蒲郡市	企画部企画政策課 サークュラーシティ推進室 室長	羽田野裕昭
議事保存	第9回蒲郡市産業振興会議録の保存		
議題	<p>(1) 主な施策の進捗状況について</p> <p>ア 観光まちづくり課</p> <p>(ア) 農水観連携によるコンテンツ創造プロジェクト（資料1） 【蒲郡市産業振興促進プロジェクト2】</p> <p>(イ) 映画「わたのまち（仮）」制作について 【基本戦略02 挑戦への支援：地域経済循環の促進】 【基本戦略03 連携の推進：観光と多様な産業の連携】</p> <p>イ 農林水産課</p> <p>(ア) 農林水産まつり&食育フェスタ（資料2） 【基本戦略02 挑戦への支援：地域経済循環の促進】</p> <p>ウ 産業政策課</p> <p>(ア) がまごおり産業創造プラットフォーム構築プロジェクト（資料3） 【蒲郡市産業振興促進プロジェクト4】</p>		

	<p>(イ) 蒲郡市企業立地方針について（資料4） 【基本戦略01柔軟性の強化：雇用創出の促進】</p> <p>エ 企画政策課</p> <p>(ア) サーキュラーシティ推進事業の取組みについて（資料5及び資料6） 【基本戦略03連携の推進：サーキュラーシティ蒲郡の推進】</p> <p>(2) 委員所属団体の取組み事例について</p> <p>ア 蒲郡金融協会（資料7）</p> <p>イ 蒲郡市漁業振興協議会（資料8）</p> <p>ウ 蒲郡商工会議所（資料9）</p> <p>(3) その他</p> <p>ア 産業政策課からの報告（資料10）</p>
<p>会議資料 ※省略</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・議事次第 ・資料1 農水観連携によるコンテンツ創造プロジェクトの実績報告 ・資料2 第44回農林水産まつり&食育フェスタの実施報告 ・資料3 がまごおり産業創造プラットフォームのあり方に関する調査の結果 ・資料4 蒲郡市企業立地方針（案） ・資料5 サーキュラーシティ蒲郡実証実験プロジェクト一覧（令和5年度） ・資料6 実証実験プロジェクト成果報告会チラシ ・資料7 「蒲郡金融協会」報告資料 ・資料8 「蒲郡市漁業振興協議会」報告資料 ・資料9 「蒲郡商工会議所」報告資料 ・資料10 「産業政策課」報告資料 ・蒲郡市産業振興会議 出席者名簿 ・意見提出用紙
<p>会議内容</p>	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会議の注意事項 ○ 配布資料説明 <p>2 第9回蒲郡市産業振興会議録の保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 戸田会長による署名 <p>3 議事</p> <p>今回は、「主な施策の進捗状況について」、「委員所属団体の取組み事例について」の2点の議題が挙げられています。それでは、「主な施策の進捗状況について」事務局から説明をお願いします。（会長）</p> <p>(1) 主な施策の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光まちづくり課から「農水観連携によるコンテンツ創造プロジェクト」、「映画「わたのまち（仮）」制作について」について説明。

- ・ 農林水産課から「農林水産まつり&食育フェスタ」について説明。
- ・ 産業政策課から「がまごおり産業創造プラットフォーム構築プロジェクト」、「蒲郡市企業立地方針について」について説明。
- ・ 企画政策課から「サーキュラーシティ推進事業の取組みについて」について説明。
- ・ ありがとうございました。ご関心のあるところについて委員から、挙手いただいてコメントあるいはご質問をいただきたいと思います。(会長)
- ・ 「農水観連携によるコンテンツ創造プロジェクト」について、乗客者数が25日間で349人となっており、1日当たり約14名で少ないと感じますが、どのように募集したのか。また、アンケートの回答者が216人でかなり回答率が高いが、もともと蒲郡市のことを知っている人がこのバスを利用したのか。
 また、もう1点コメントになるが、本学には地域貢献の思いが強くあり、例えば学生の卒業研究のテーマとして何か地元の企業と一緒に実証実験をさせていただくなど、様々な形で参加できると良い。(委員)
 → 乗客者数349人は当初の想定より少ない。また、実際に事業が始まってからは、一般の参加者だけでなく、発信力のある関係者に乗車してもらい、その方から蒲郡をPRしていただくケースが多くなった。そのため、関係者の乗車が多くなったことから、アンケートの回答率も高くなっている。(事務局)
- ・ 「がまごおり産業創造プラットフォーム構築プロジェクト」、「蒲郡市企業立地方針」について、目標年度をはっきりさせた方が良い。また、蒲郡商工会議所も現在今後10年先を見据えたビジョンを作成しようとしているので、そのビジョンと連携して事業を実施していったらいい。また、もう1点、蒲郡市は観光地であるため、観光地らしい町の設えを産業振興と一緒に作っていく必要があると考えている。(委員)
 → 「がまごおり産業創造プラットフォーム」については、令和7年度に令和8年度予算としての予算化を目指していく。「蒲郡市産業立地方針」には目標年度を示していないが、「蒲郡市産業振興ビジョン」の計画期間としている令和14年度までに成果を出せるよう企業立地に取り組んでいく。(事務局)
- ・ 「農水観連携によるコンテンツ創造プロジェクト」について、次年度の実施可否を判定する要素になるため、効果測定をしっかりとやった方が良い。(委員)
- ・ 「がまごおり産業創造プラットフォーム」のゴールの1つとして、会社設立も考

えているのか。また、「蒲郡市企業立地方針」に関連して、「蒲郡市産業振興ビジョン」の具体的な取組に示してある企業用地の確保について、いつごろまでに確保することを考えているのか。(委員)

→ 「がまごおり産業創造プラットフォーム」について、各企業や関連団体が結びつくことのできる基盤をつくることを想定しており、その結びつきの結果でゴールは変わってくるかと思う。(事務局)

→ 行政が主体では事業がうまくいかないケースが多いため、民間を主体として行政がフォローする体制で実施した方が良い。また、事業目標はあまり高いものを掲げずに実施した方が良い。(委員)

→ 非常に高い目標になるが、令和14年度を目指して造成等の検討・実施していく。(事務局)

・ 「がまごおり産業創造プラットフォーム」を作る際に、最終目標のイメージを何にするかで作り方や参加するメンバーが変わってくると思う。最終目標をイメージするためのKPIなどは設定するのか。(委員)

→ 来年度ワーキンググループで検討しながらKPIを設定し、どのようなプラットフォームが蒲郡市にとって最適か検討していく。(事務局)

・ 「がまごおり産業創造プラットフォーム」について、構築のプロセスを民間企業等に共有し、意見を集約していくことが必要になる。また、他の事例からも、運営を主導する人物や活動テーマの選定は非常に重要であることが言える。(会長)

(2) 委員所属団体の取組み事例について

・ 蒲郡金融協会から「カーボンニュートラルの取組み」について説明。

・ 蒲郡市漁業振興協議会から「令和6年度蒲郡市スマート牡蠣養殖実証事業」について説明。

・ 蒲郡商工会議所から「BCP・労務対応セミナー」、「生成AI活用セミナー」、「RIZAP健康美セミナー」、「視点コロコロデザインのお話と実践」、「蒲郡ナイトマップ」、「STATION Ai 視察見学会」、「がまごおり共創ハッカソン2025」について説明。

・ それでは各委員からご意見を伺いたいと思います。(会長)

・ 海の状態が悪く、生産性が上がりず後継者ができない。海が良くなることを祈る。(委員)

- ・ 「蒲郡市企業立地方針」について、市内企業をヒアリングしながら、1年1年地に足をつけて取り組んでいただきたい。(委員)
- ・ 「がまごおり産業創造プラットフォーム」について、浜町の工業団地など、多数の企業が進出されているところとプラットフォームを形成すると、より具体的なアライアンスが生まれると感じている。また、様々なイベントのPRとして、豊橋駅に設置してあるデジタルサイネージを使うとPR効果が高いと思う。(委員)
- ・ 「がまごおり産業創造プラットフォーム」について、オープンな仕組みというのは魅力的であり、空き時間に行って交流ができるようなオープンでフラットな場があると良いと思う。(委員)
- ・ 「がまごおり産業創造プラットフォーム」について、参加すると企業価値が上がるような意義のあるものができるが良い。(委員)
- ・ 「がまごおり産業創造プラットフォーム」について、起業間もない企業の資金調達までフォローできる仕組みができると良い。(委員)
- ・ 「がまごおり産業創造プラットフォーム」について、学生も積極的に参加できる仕組みができると良い。(委員)
- ・ 「がまごおり共創ハッカソン2025」に参加し、様々な年齢や事業種の方と課題解決に向けて取り組みすごく勉強になった。このような形で蒲郡市に適した「がまごおり産業創造プラットフォーム」が出来上がってくると感じた。(委員)
- ・ 「がまごおり産業創造プラットフォーム」については、各委員からの意見を考慮し、しっかりと形にしていきたい。また、産業振興をする際に、市単独で実施するのは難しいため、戦略的広域性ということを考え、地域で取り組んだ方が良い。それから、人材育成という観点もベースに持ちながら事業実施を考えていく必要がある。(会長)
- ・ 各担当から説明させていただいた事業につきましては、各産業界のご意見を聞きながら官民一体となり、取り組んでいくことが必要であると感じている。また、いずれの施策についても効果検証をしながら、攻めの姿勢で取り組んでいきたい。(委員)

(4) その他

事務局から、蒲郡市がSTATION Aiに入居する旨、愛知県が実施するAIC

	HI CO-CREATION STARTUP PROGRAM2024で、スタートアップ企業である株式会社TENTIALが蒲郡市の旅館平野屋と連携し、コンディショニングプランのモニター実証を実施した旨、事業者向け障がい者雇用セミナーの開催について報告。
--	---